

令和3年度 調布市立第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○「自ら学び、考える生徒」→生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、学力向上を図る学校 ○「命を大切にする生徒」→心の教育を充実させ、生命を尊重し、共に助け合う態度を育てる学校 ○「何ごともやりぬく生徒」→豊かな体験活動を充実させ、心身ともに健康に生きる態度を育てる学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○コロナ禍における教育課程の充実(中止や変更について、迅速、適切、説明責任) ○地域に支持される魅力ある学校づくり(授業の質的向上、ICTの活用、部活動の充実、学校行事の活性化) ○特別支援教育における指導力の向上(特別支援教室拠点校としての通級の指導、通常の学級における指導の充実) ○地域学校協働本部(各種検定等の実施、補修等サポートの充実)、PTA、小学校との連携・協力

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識 ・主体的な学び ・読む能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で、小学校からの漢字の復習を繰り返す行う ・教材ごとに個人の目標を設定し自学自習の習慣化を図る ・教科書教材に関連した多くの文章を紹介することで豊かな思考力を育む。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力 ・基礎的・基本的な知識や技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に対して、自分事に落とし込み考えられる問いを設定し、身に付けた知識や技能を活用して考えさせる。 ・生徒全員が知識や技能を身に付けられるよう、ICTを活用しながら、分かりやすい授業の展開を工夫する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能 ・数学的技能を用いた協同的課題解決能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の中で演習の時間を確保し、確実に課題解決する力を育む。 ・問題解決のための方法を生徒同士で相談したり共有したりして、理解を深める。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢 ・思考力・判断力・表現力 ・知識・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験やそのまとめに主体的に取り組みさせることで、問題解決を通じた思考力や表現力を身に付けさせる。 ・毎回の授業、実験前に、関連のある既習事項を振り返り、身に付けた知識や技能を定着させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的・基礎的な技能 ・表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の中で楽譜から、基本的なことを読み取り、表現することにつなげていく。それぞれのパートの音を分かりやすく伝える。 ・一人一人表現力向上のため、ワークシートを活用する。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力 ・発想力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能習得の時間を確保し表現力の向上を図る。また Chromebook を活用し、完成へのイメージをもたせる。 ・生徒同士の意見交換や Chromebook を活用し、発想を広げる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 ・運動技能の定着 ・粘り強く学習に取り組む意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・補強運動や運動量の確保により、体力の向上を図る。 ・運動量の確保とともに学習資料の活用等により、自己の課題を解決させ、技能の定着を図る。 ・達成感を味わわせ、前向きに取り組む意欲を育む。
技術・家庭	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫力の向上 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成 	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能の習得を目指すとともに、工夫のある制作を行っていく。 ・興味を引く題材で、学習に前向きに取り組む姿勢を育てる。 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の授業回数を意識させ、自分たちで見通しをもち学習に臨める工夫をする。 ・進度の早い生徒にはより工夫できる教材を準備し、一人一人に応じた授業内容にしていく。

<p>英語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」 ・読解力・表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・4技能の基礎的な能力の習得のために、リスニング、音読・暗唱、ペアワークによる会話練習、文法ドリル、英文読解、英作文等の学習をバランスよく行う。 ・デジタル教科書の活用により、視覚、聴覚を通してインプット、アウトプットさせる。 ・スピーチ発表や自己紹介など、普段の学習で身に付けた力を実際に活用する場面を多く設定していく。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な判断力・心情 ・実践意欲と態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える」「他の人の考えを聞く」発問を工夫し、自己内対話ができる授業を展開する。 ・「考え、議論する」道徳の授業をとおして、人間としての生き方について自覚を深め、ともによりよく生きようとする意欲や態度を培うように展開を工夫する。